

## 会 議 録

会議の名称	令和3年度第5回富士見市社会教育委員会議
開催日時	令和4年3月28日（月）午後7時00分～8時00分
開催場所	中央図書館 視聴覚ホール
出席者	古澤立巳議長、佐々木真理子副議長、荒川照子委員、吉田徹子委員、蘇武伸吾委員、渡邊知広委員、吉田和江委員、富士伸委員、事務局
欠席者	京谷恵子委員、内海幸一郎委員
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 議長あいさつ</li> <li>2 生涯学習課より報告</li> <li>3 入間地区社会教育協議会について</li> <li>4 協議事項</li> <li>5 その他</li> </ol>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期刊行物</li> <li>・資料1「成人式の名称変更について」</li> <li>・資料2「令和4年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について」</li> <li>・資料3「提言書のながれの確認」</li> </ul>
会議録確認	古澤立巳議長

## 会議内容

### 1. 議長あいさつ

### 2. 生涯学習課より報告

#### ○成人式の名称変更について

**【事務局】** 配布資料に基づき事務局より成人式の名称変更について報告

#### ○令和4年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について

**【事務局】** 配布資料に基づき事務局より令和4年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について説明

**【委員】** 子ども大学ふじみ開催補助金について、対象者はどのように選んでいるのか。

**【事務局】** 市内在住、在学の小学校4年生から6年生を対象としている。定員を超える応募があった場合は抽選を行っている。

**【委員】** 補助金交付予定の団体が8団体あるということだが、事務局の説明の中で「例年」という言葉があった。恒常的に活動している団体がこの8団体ということか。新しく他の団体が補助金を受けることは可能なのか。どうやったら市から補助金を受けられるようになるのか。また、富士見市青少年相談員協議会、富士見市青少年育成市民会議、富士見市青少年育成推進員の会、似たような活動をされているという印象を受けたが、これらの団体を統合するということはできないのか。各団体で活動趣旨が異なるものと思うが、とはいえ同じような活動をしてしまっていないか。

**【事務局】** 青少年団体についてまずお答えする。委員ご指摘のとおり、これらの団体の活動目的は青少年の健全育成であり、目指すところは同じではある。ただ、青少年育成推進員の会と、青少年相談員協議会は、県から推進員、相談員として、それぞれ委嘱を受けて活動しており、係る立場やアプローチが違うものと認識している。また新しい団体が補助金を受けることは可能か、という質問について、可能であると考えている。ただ、補助金を交付するとなると市長決裁となる。もちろん決裁に至るまでに担当課同士で補助金を交付してしかるべき団体か、という協議が行われる。その協議の中で認められないことも十分にあり得る。

**【委員】** 補助金を受けるまでに、この8団体も含め、基準に基づき厳密な審査が行われているという理解でよいか。

**【事務局】** 委員ご指摘のとおりである。

### 3. 入間地区社会教育協議会について

**【事務局】** 入間地区社会教育協議会社会教育委員部会の部会長について、令和6年度と7年度は富士見市が担当となる。第34期で入間地区社会教育協議

会社会教育委員部会をご担当いただく委員には、部会長をお願いさせていただくことになるので、事前に周知させていただく。

#### 4. 協議事項

**【事務局】** 前回会議から日が開いたため、これまでの経緯について説明する。

○ 1回目（8月）

- ・各委員から興味関心がある事項について意見交換
  - ①高齢者の活動の場について
  - ②現役（生産年齢人口）世代をどうやって地域活動に巻き込むか
  - ③40～50代の地域への帰属意識の低下の原因はなにか
  - ④SDGsの推進方法（社会教育の観点から）
  - ⑤世代間のつながりのつくり方
  - ⑥富士見市における子どもの増加について
  - ⑦第3次富士見市教育振興基本計画策定に向けて
  - ⑧コロナ禍における生涯学習活動のオンライン化について
- ・生涯学習推進基本計画等、社会教育に関する行政資料の配布  
→各自興味関心のあるテーマについて考えてくること

○ 2回目（10月）

- ・事前配布資料（1回目会議で出された興味関心事項のまとめ）をもとにテーマ案の候補を選出  
→「40～50代の地域への帰属意識の低下の原因はなにか」「世代間のつながりのつくり方」  
→後日、協議結果をまとめ「第33期のテーマについて」を配布

○ 3回目（11月）

- ・テーマ案を「世代を越えたつながりづくり」とする
- ・2回目の会議でキーワードとなった「つながり」について、委員各自の考えをまとめて提出すること
- ・2回目の会議で言及のあった「社会教育」と「生涯学習」の違いについて委員各自の考えをまとめて提出すること
- ・委員から提出された「つながり」「社会教育」「生涯学習」についてまとめ、配布

**【議長】** 1月に事務局から委員各位へ資料を配布してもらった。つながりについて、社会教育について、生涯学習について、各委員の意見や考えをまとめたものである。次回の会議で、簡単な説明と補足があれば補足してもらえればと考えている。なおテーマについては「世代を越えたつながりづくり」というテーマで確定してよいか、委員の意見を伺いたい。

**【委員】** 全員承認。

**【議 長】** また、事務局より提言書のながれについて資料を作成してもらい本日配布している。ここにあるように、今後の会議で委員各位の意見を伺っていければ。各自持ち帰って考えてきていただきたい。

## 5. その他

### 次回会議日程

#### 第33期第5回会議

日程：令和4年4月25日（月）午後7時～

場所：中央図書館 視聴覚ホール